

平成30年度 総会資料

開催日：平成30年6月6日(水)13:30～

場 所：相馬市LVMH子どもアート・メゾン



特定非営利活動法人

相馬フォロアーチーム

平成30年度 総会次第

- 1 開会
- 2 理事長あいさつ
- 3 議長選任
- 4 議事録署名人選任
- 5 議事
 - (1) 議案第1号 平成29年度事業報告及び活動決算について
 - (2) 議案第2号 平成30年度事業計画(案)及び活動予算(案)について
 - (3) 議案第3号 理事及び監事の選任について
 - (4) その他
- 6 その他
- 7 閉会

平成29年度事業報告書

【心のケア事業】

1 事業の実施内容

震災による子どもへのPTSD対策や成長支援を行うため、臨床心理士等の専門家を中心に被災小中学校及びLVMH子どもアート・メゾンでのカウンセリング等を行った。さらに、被災した子どもに生きる力を育むための情操教育および社会性育成の支援を行った。

2 事業の実施状況

(1) 学校訪問

① 回数等：延べ278件

② 内容：対象 中村第二小学校117回（世界の医療団10回）、中村第二中学校85回、磯部小学校38回、磯部中学校38回

(2) LVMH子どもアート・メゾン相談室での心理相談件数

① 回数等：延べ354件

② 内容：LVMH子どもアート・メゾン相談室にて、保護者への子育て相談や子どもの発達に関する相談、子どもへのカウンセリングやプレイセラピー（遊戯療法）などの心理支援を行った。また、必要に応じて発達・知能検査や心理検査なども実施した。

(3) 関係機関との連携

① 回数等：延べ297件

② 内容：市保健センター主催「すこやか教室」（5回）、「発達障害ネットワーク」（1回）、相馬市地域自立支援協議会子ども支援部会（8回）、「要保護児童対策地域協議会」（1回）に参加し、関係団体等との情報共有を行ったほか、研修会等に講師として参加するなど関係機関との連携を図った。なお、件数については電話連絡等も含む延べ数とする。

(4) 震災遺児・孤児に対して

当該児童生徒については、カルテを作成し、担任、養護教諭、家庭などから情報を収集し、多角的視点で見守り、必要に応じてカウンセリングを行った。

(5) 緊急支援等の活動

① 件数：3回

② 内容：平成29年4月下旬に宮城県にて中学生の自殺及び平成29年8月29日、9月15日のJアラートの警報を受け、訪問先の学校へ電話連絡等にて児童・生徒の様子や状況を確認し、必要に応じて学校訪問を行った。

3 事業実施の成果

この事業により、津波被害の大きかった地区の子ども、保護者、教職員等の心的外傷を緩和し、克服できるよう臨床心理士等の専門家が継続的に心のケアを行った。その結果、多くの子どもたちの中には、医学的な診断、治療を要するPTSDの症例は出ていない。しかし、震災から7年を経過した今でも、一部の子どもに家庭状況の変化等により精神疾患や発達障害様の症状を呈する例もあり、継続的な観察や支援が必要であると考えられる。

さらに、本年度は、市教育委員会学校教育課で行っている「相馬市メンタルサポート事業」への積極的な連動や児童精神科医と密に情報共有を行った。

【学力向上事業】

1 事業の実施内容

- (1) 東京大学の学生ボランティアが子どもの学力向上をサポートする活動（相馬寺子屋学習会）を行った。
- (2) 中学生対象の学習会は、相馬市生涯学習会館とLVMH子どもアート・メゾンを会場にして開催した。

2 事業実施の成果・実績

(1) 実施内容

- ① 期間：平成29年5月27日～平成30年2月3日
- ② 参加ボランティア数：延べ126人

(2) 実施場所等

- ① 相馬市生涯学習会館
 - ・ 開催数：13回
 - ・ 参加者：中学生延べ296人
- ② LVMH子どもアート・メゾン
 - ・ 開催数：13回
 - ・ 参加者：中学生延べ101人

- (3) 成 果：参加した生徒一人一人の学習課題に応じた支援を行うことができた。また、生徒の学習意欲を高めるとともに、学力の向上も図ることができた。

【交流事業】

1 事業の実施内容・成果

- (1) 相馬フォロアーチームの支援団体である大阪の「プール学院」との交流事業へ参加した。担任教師が引率のもと、震災で被災した磯部中学校の生徒5名が、平成29年8月17日（木）～8月19日（土）2泊3日の日程で訪問し、プール学院の生徒と以下のような活動を通して交流を深めた。
 - 教職員や生徒による歓迎式、歓迎パーティーへの参加
 - 各種音楽クラブや放送部のメンバーと体験活動
 - 大阪市内の観光、USJ、海遊館等の見学
- (2) 平成30年3月7日（水）～8日（木）にプール学院の中学生1名、高校生4名が教員2名の引率のもと、本市を訪問した。磯部中学校の生徒との交流、海岸部の見学、市役所やアート・メゾンや歴史資料収蔵館等の訪問して交流を深めた。
- (3) 被災した生徒がプール学院の生徒や教員の方々との相互交流を通して、感謝の気持ちを伝えたり、活動を共にしたりするなど、社会体験活動を推進することができた。

2 東京大学のキャンパス見学会への参加

- (1) 日 時：平成29年8月1日（火）
- (2) 場 所：東京大学 本郷キャンパス
- (3) 参加者：市内中学生23名（引率2名）
- (4) 内 容：① キャンパス見学…総合研究博物館、安田講堂周辺、赤門周辺の見学
② 大学生との交流・昼食
③ 大学の先生による講義の体験
- (5) 成 果：参加した生徒たちは、施設見学や講義等を通して、大学生活についてさまざまな角度から認識を新たにすることができ、大学進学へのあこがれや学習意欲を高めることができた。

平成29年度活動計算書

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | |
|-----------|------------|------------|
| I 経常収益 | | |
| 1 受取寄付金 | | |
| 受取寄付金 | | 0 |
| 2 受取助成金等 | | |
| 受取補助金 | | 0 |
| 3 事業収益 | | |
| 市委託料収入 | 20,414,400 | 20,414,400 |
| 4 その他収益 | | |
| 受取利息 | 94 | |
| 雑収入 | 0 | 94 |
| 経常収益合計 | | 20,414,494 |
| II 経常費用 | | |
| 1 事業費 | | |
| (1) 人件費 | | |
| 給料手当 | 8,364,103 | |
| 法定福利費 | 1,283,886 | |
| 人件費計 | 9,647,989 | |
| (2) その他経費 | | |
| 旅費通信費 | 2,158,428 | |
| 賃借料 | 666,520 | |
| その他事業費 | 1,257,448 | |
| その他経費計 | 4,082,396 | |
| 事業費計 | | 13,730,385 |
| 2 管理費 | | |
| (1) 人件費 | | |
| 給料手当 | 4,530,556 | |
| 法定福利費 | 695,439 | |
| 人件費計 | 5,225,995 | |
| (2) その他経費 | | |
| 旅費通信費 | 227,603 | |
| 賃借料 | 341,142 | |
| 減価償却費 | 342,521 | |
| その他管理費 | 294,009 | |
| その他経費計 | 1,205,275 | |
| 管理費計 | | 6,431,270 |
| 経常費用合計 | | 20,161,655 |
| 当期経常増加額 | | 252,839 |
| 当期正味財産増加額 | | 252,839 |
| 前期繰越正味財産額 | | 8,664,355 |
| 次期繰越正味財産額 | | 8,917,194 |

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 8,002,141 | | |
| 未収入金 | 1,312,440 | | |
| 流動資産合計 | | 9,314,581 | |
| 2 固定資産 | | | |
| 車輛運搬具 | 3 | | |
| 什器備品 | 74,591 | | |
| 固定資産合計 | | 74,594 | |
| 資産合計 | | | 9,389,175 |
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 未払金 | 375,847 | | |
| 預り金 | 96,134 | | |
| 流動負債合計 | | 471,981 | |
| 2 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | | 471,981 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 前期繰越正味財産 | | 8,664,355 | |
| 当期正味財産増加額 | | 252,839 | |
| 正味財産合計 | | | 8,917,194 |
| 負債及び正味財産合計 | | | 9,389,175 |

財産目録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | | |
|--------------------------|-----------|-----------|-----------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 東邦銀行普通預金 (No.1035128) | 8,002,141 | | |
| 未収入金 受託料(相馬市) | 1,312,440 | | |
| 流動資産合計 | | 9,314,581 | |
| 2 固定資産 | | | |
| 車輜運搬具 | | | |
| ダイハツエッセ (福島580つ6537) | 1 | | |
| スズキアルトF (福島580の4217) | 1 | | |
| スズキエブリィ (福島580の3785) | 1 | | |
| 車輜運搬具合計 | 3 | | |
| 什器備品 | | | |
| パソコン | 1 | | |
| リコープリンター | 1 | | |
| 知能検査コンプリートセット | 1 | | |
| 知能検査セット | 74,588 | | |
| 什器備品合計 | 74,591 | | |
| 固定資産合計 | | 74,594 | |
| 資産合計 | | | 9,389,175 |
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 未払金 | | | |
| 3月分 賃金 | 59,719 | | |
| 3月分 役務費(郵送料) | 8,765 | | |
| 3月分 水道光熱費 | 6,898 | | |
| 3月分 社会保険料 | 300,465 | | |
| 未払金合計 | 375,847 | | |
| 預り金 | | | |
| 1~3月分 源泉税 | 96,134 | | |
| 流動負債合計 | | 471,981 | |
| 2 固定負債 | 0 | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | | 471,981 |
| 正味財産 | | | 8,917,194 |

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協会）によつてます。

(1) 消費税等の会計処理

税込処理である。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算に計上していません。

2. 事業費の内訳

(単位：円)

| 科 目 | 心 理 ケ ア 事 業 | 寺子屋ふれあい 事 業 | プール学院 交 流 事 業 | 合 計 |
|-----------|----------------|----------------|------------------|------------|
| (1) 人 件 費 | | | | |
| 給料手当 | 8,364,103 | - | - | 8,364,103 |
| 法定福利費 | 1,283,886 | - | - | 1,283,886 |
| 人件費計 | 9,647,989 | - | - | 9,647,989 |
| (2) その他経費 | | | | |
| 旅費通信費 | 420,189 | 1,685,850 | 52,389 | 2,158,428 |
| 賃借料 | 629,800 | - | 36,720 | 666,520 |
| その他事業費 | 835,379 | 301,600 | 120,469 | 1,257,448 |
| その他経費計 | 1,885,368 | 1,987,450 | 209,578 | 4,082,396 |
| 合 計 | 11,533,357 | 1,987,450 | 209,578 | 13,730,385 |

事業の共通経費がある場合は、スタッフの従事割合で按分する。

平成30年度事業計画（案）

事業内容

1 心理ケア事業

(1) 学校巡回カウンセリング

相馬市内の東日本大震災の被害が大きかった小中学校を中心に、相馬フォロアチームのカウンセラーが定期的に巡回し、児童生徒とその家族、教職員を対象にカウンセリングを実施する。

① 対象校

中村第二小学校、中村第二中学校、磯部小学校、磯部中学校

② 予定される訪問回数

- ・ 中村第二小学校・・・125回
- ・ 中村第二中学校・・・88回
- ・ 磯部小学校・・・・・・42回
- ・ 磯部中学校・・・・・・41回

(2) LVMH子どもアート・メゾンにおけるカウンセリング

LVMH子どもアート・メゾン相談室において、18歳までの子どもを対象に、またその保護者等を対象に子育て相談・心のケアを実施する。

(3) 関係機関との連携

関係機関との情報交換を行うことや研修会への参加（講師として参加も含む）等、関係機関との連携を図る。

(4) 震災遺児・孤児に対するケア

関係機関と連携し、対象園児・児童・生徒の成長を継続的に見守る。

2 学力向上事業

(1) 被災した子どもたちの学力向上をサポートするため、相馬市教育委員会並びに東京大学と連携をしてボランティアの学生に協力をいただき、生涯学習会館とLVMH子どもアート・メゾンで「学習会」を開催する。

(2) 実施予定回数は13回とする。

3 交流事業

(1) 相馬フォロアチームの支援団体であるプール学院との交流を図る。

- ・ 大阪での交流（平成30年8月17日～19日）
- ・ 相馬での交流（平成31年3月）

(2) 東京大学キャンパス見学会を実施する。

平成30年度活動予算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | | |
|-----------|-----------|------------|------------|
| I 経常収益 | | | |
| 1 受取寄付金 | | | |
| 受取寄付金 | | | 0 |
| 2 受取助成金等 | | | |
| 受取補助金 | | | 0 |
| 3 事業収益 | | | |
| 市委託料収入 | | 23,167,080 | |
| 4 その他収益 | | | |
| 受取利息 | | | 100 |
| 経常収益合計 | | | 23,167,180 |
| II 経常費用 | | | |
| 1 事業費 | | | |
| (1) 人件費 | | | |
| 給料手当 | 8,500,000 | | |
| 法定福利費 | 1,300,000 | | |
| 人件費計 | 9,800,000 | | |
| (2) その他経費 | | | |
| 旅費通信費 | 2,500,000 | | |
| 賃借料 | 800,000 | | |
| その他事業費 | 1,600,000 | | |
| その他経費計 | 4,900,000 | | |
| 事業費計 | | 14,700,000 | |
| 2 管理費 | | | |
| (1) 人件費 | | | |
| 給料手当 | 4,600,000 | | |
| 法定福利費 | 700,000 | | |
| 人件費計 | 5,300,000 | | |
| (2) その他経費 | | | |
| 旅費通信費 | 350,000 | | |
| 賃借料 | 400,000 | | |
| 減価償却費 | 50,000 | | |
| 租税公課 | 858,000 | | |
| その他管理費 | 1,509,180 | | |
| その他経費計 | 3,167,180 | | |
| 管理費計 | | 8,467,180 | |
| 経常費用合計 | | | 23,167,180 |
| 当期経常増加額 | | | 0 |
| 当期正味財産増加額 | | | 0 |
| 前期繰越正味財産額 | | | 11,917,194 |
| 次期繰越正味財産額 | | | 11,917,194 |

理事及び監事の選任について(案)

| 役 職 | 氏 名 | 備 考 |
|-----|--------|-----|
| 理 事 | 羽根田 万通 | |
| 理 事 | 長 有紀枝 | |
| 理 事 | 片寄 雅彦 | |
| 理 事 | 佐藤 達雄 | |
| 理 事 | 近藤 菜々子 | |
| 理 事 | 上 昌広 | |
| 理 事 | 宮澤 保夫 | |
| 監 事 | 反畑 正博 | |

監査報告書

平成29年度特定非営利活動法人相馬フォロアーチームの収支決算について、平成30年5月30日に預金通帳並びに領収書など関係書類をもとに監査をいたしました。

その結果、正確かつ適正に処理されておりましたので、ここにご報告いたします。

平成30年6月6日

特定非営利活動法人
相馬フォロアーチーム

監事 反畑正博 